

ハイツカ湖 ネイチャー マップ

HAIZUKA LAKE
Nature Map

知れば知るほどオモシロイ！ ネイチャーリゾート・ハイツカへ

三次市街地から車でわずか 20 分。

ハイツカ湖を中心に美しい自然に恵まれた灰塚ダム周辺は、四季折々の魅力溢れるとっておきのレジャースポット。

散策すれば珍しい稀少動植物と出会えるし、美味しいご当地メニューも豊富。アートの薫り漂うカフェやアースワークだってあるし、バス釣りにウォーキングとアウトドア派の楽しみ方も多彩です。

一足のばしてハイツカへ、遊びに来てみませんか？

観光情報などのお問合せ先

【三次市三良坂支所】
三次市三良坂町三良坂 2100 TEL.0824-44-4511

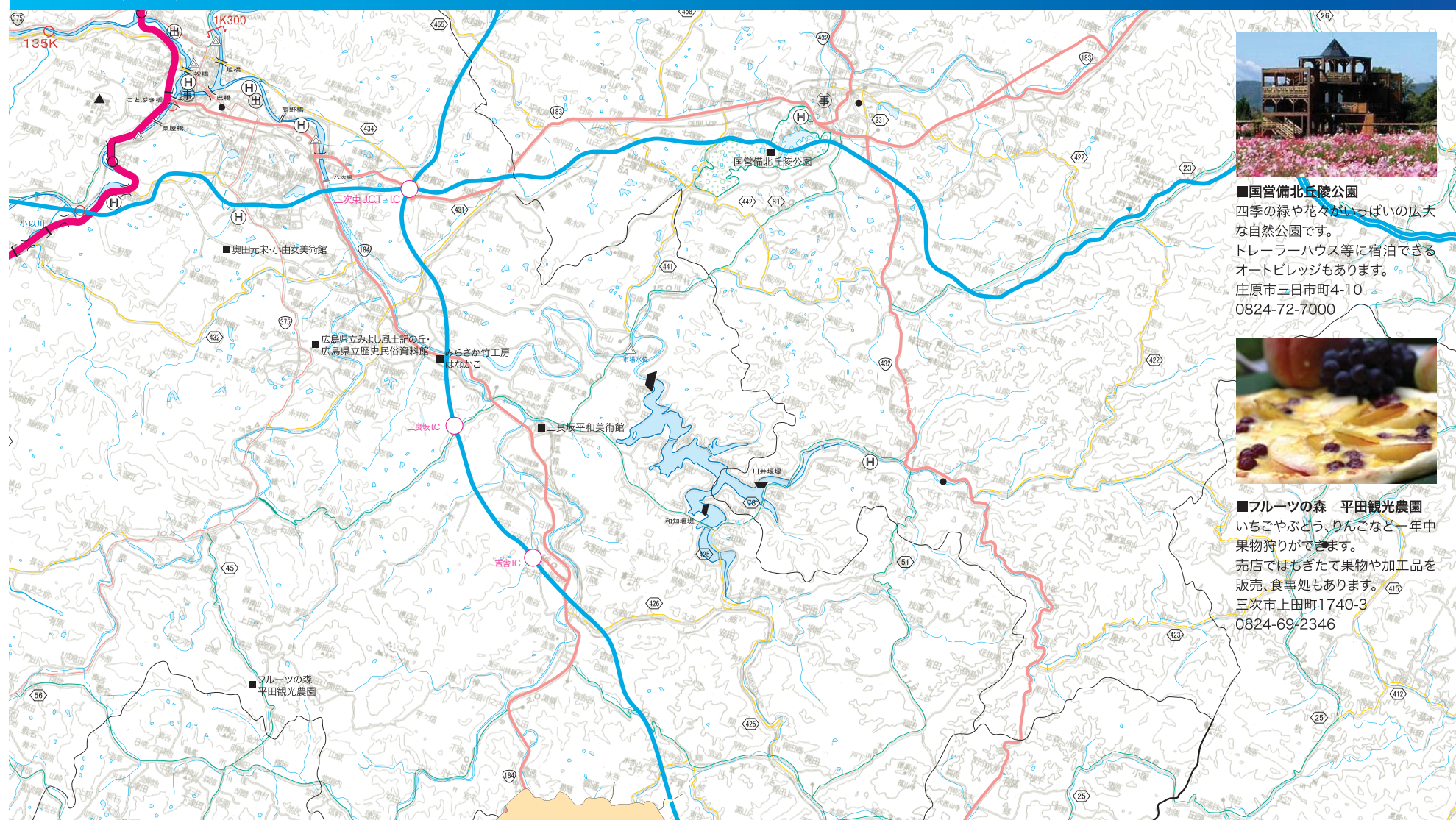
【三次市吉舎支所】
三次市吉舎町吉舎 368 TEL.0824-43-3112

【庄原市総領支所】
庄原市総領町下領家 278 TEL.0824-88-3060

灰塚ダム・知和ウェットランドに関するお問合せ先

【国土交通省灰塚ダム管理支所】
三次市三良坂町仁賀 1575 TEL.0824-44-4360

おでかけマップ



■国営備北丘陵公園
四季の緑や花々がいっぱいの広大な自然公園です。
トレーラーハウス等に宿泊できるオートビレッジもあります。
庄原市三日市町4-10
0824-72-7000



■フルーツの森 平田観光農園
いちごやぶどう、りんごなど一年中果物狩りができます。
売店ではもぎたて果物や加工品を販売、食事処もあります。
三次市上田町1740-3
0824-69-2346



■広島県立みよし風土記の丘・広島県立歴史民俗資料館
広島県の歴史や考古、民俗の資料を数多く展示収蔵しています。中国地方有数の約30haに及ぶ古墳群も見学できます。
三次市小田幸町122
0824-66-2881



■奥田元宋・小由女美術館
日本画家、奥田元宋と人形作家、小由女夫妻の作品を展示。様々な講座なども行う、市民参加型の美術館です。
三次市東酒屋町453-6
0824-65-0010

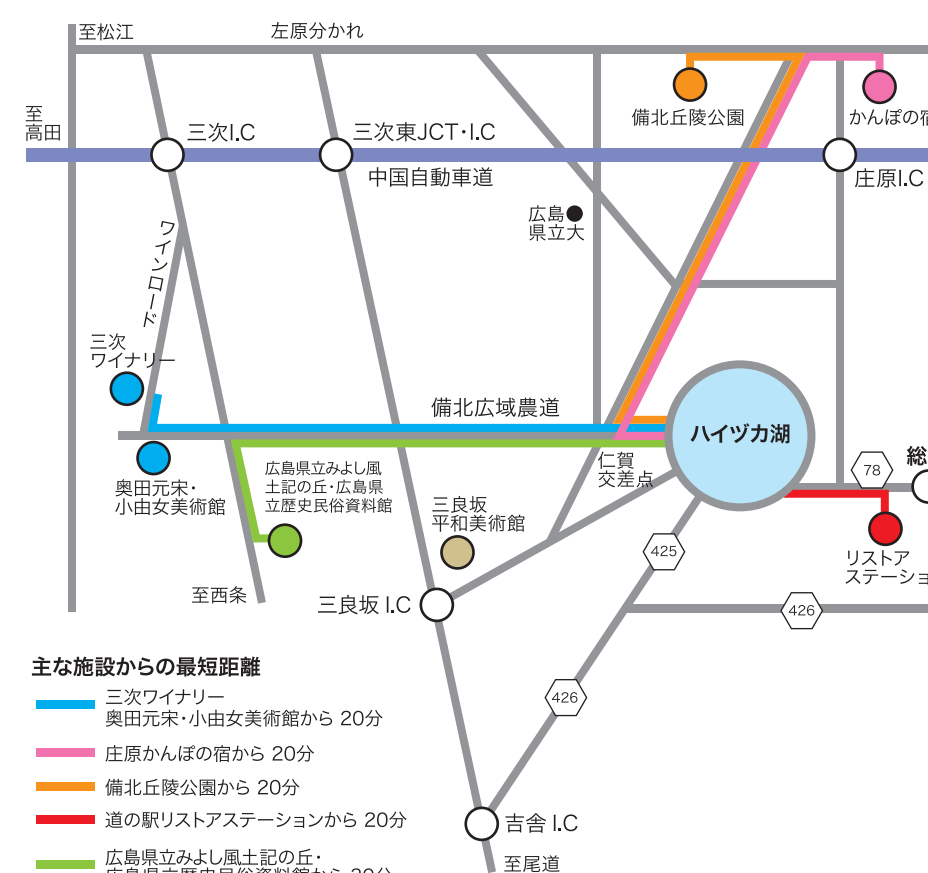


■三良坂平和美術館
平和・人権・文化をテーマにした美術館です。
地元出身の洋画家、柿手春三画伯の作品を中心に展示しています。
三次市三良坂町三良坂2825
0824-44-2749



■みらさか竹工房 はなご
伝統技術を生かした竹工芸品などの生産販売を行っています。
竹細工体験教室や、食事処もあります。
三次市三良坂町岡田71
0824-44-7071

道路時刻表



ハイヅカ湖 周辺マップ



お月見

お月見は北半球で太陽と月の角度が観月に最も良い時節に月を鑑賞する風習です。「十五夜(旧暦8月15日)」と「十三夜(旧暦9月13日)」に行われ、この日の月は「中秋の名月」「十五夜」「芋名月」と呼ばれます。現行の太陽暦では十五夜は9月中旬から10月初旬、十三夜は10月初旬から下旬頃にあたります。ハイヅカ湖周辺は年間をとおして空気が澄んでおり、特に秋は透明感が増してきます。ご紹介している5地点は地元住民が選んだ絶景ポイント。満天の星空に浮かぶ大きな満月を楽しむことができますよ。



①オノ峠広場



②知和大橋



③羽地大橋



④井原大橋からの眺め



⑤田戸岬からの眺め



三次方面からの交差点



灰塚ダム管理支所



のぞみが丘方面への交差点



知和大橋付近T字路



庄原方面からの交差点



木屋方面への交差点



吉舎安田中坪橋の交差点

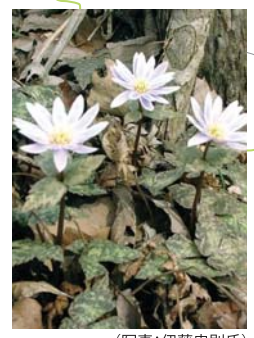
■カタクリ(ユリ科) 三次市指定天然記念物
春植物のうちもっとも知名度の高い花でしょう。紫がかったピンクの花びらが開花後すぐに強く反転します。大きな葉はチューリップに似ていて、茶色の斑が入っています。同じ頃に開き始めるウバユリの葉によく似ていますが、こちらは葉脈がはっきりしているのでお間違いなく。ダムサイト直下流の左岸に合流する谷に大規模な自生地がありますが、ハイヅカ湖畔の森から下る健脚コースです。足に自信のない方は、ハイヅカ湖畔の森やのぞみが丘宗像神社下の移植地でご鑑賞ください。

■ユキワライチゲ
(雪割一華・キンポウゲ科) 三次市指定天然記念物
ハイヅカ湖周辺に数多く見られる春植物のひとつです。開花期間が長く、カタクリが咲く頃まで咲き続けます。この花を観賞するには焦りは禁物。開花期間中、昼夜にあわせて毎日花を開閉し、陽がささない日は昼間も閉じたままです。天気の良い日に太陽が充分高くなってから出かければ、淡い紫の可憐な花に会えるでしょう。ハイヅカ湖周辺ではしばしばカタクリと一緒に自生しており、葉を出してから冬を越すので晩秋のうちに見つけることができます。お吸い物に浮かべるミツバの葉によく似た形で、濁った色のまだら模様が入っているのが特徴です。

■知和ウェットランド
灰塚ダムの上流に整備された人工湿地、知和ウェットランドは日本最大級のビオトープです。一年をとおしてカルガモやミサゴなど様々な水鳥が訪れ、コウノトリが飛来する野鳥達の憩いの場になっています。また、鳥類だけでなく湿地の中にはオタマジャクシやメダカ、フナ、タモロコなどの魚類や稀少な植物なども多く成育しています。ビジターセンター「知和管理棟」では、フィールドスコープを使って湿地にいる生き物を観察することができますよ。
三次市吉舎町知和 0824-43-2324



■セツブンソウ
(節分草・キンポウゲ科) 庄原市指定天然記念物・絶滅危惧II類(環境省、広島県)
冬から春にかけて日当たりの良い場所では、その名のとおり節分のころに咲きはじめ、同じキンポウゲ科のユキワライチゲと早春の一番咲きを競います。白い花びらのように見えるのがく片で、もとの花びらは黄色い密腺(みつせん)に変化してまるで雄しべのよう。本当の雄しべは、その内側で青い葯(やく)をつけています。
本来は落葉広葉樹林の下で育つ林床(りんしょう)植物ですが、栗園や墓地など永年草刈りが続けられた自生地では密生し、満開時にはまるで白い絨毯(じゅうたん)を敷き詰めたよう。灰塚ダムの水没地にもたくさんの自生地があり、その大部分は土ごと移植しています。代表的な移植地は宗像神社下の池の隣の斜面です。



(写真:伊藤忠則氏)



(写真:伊藤忠則氏)